

広報 いまり

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行

定価1部24円

昭和56年5月1日

伊万里市役所総務部秘書課発行

No.327

風薫る五月の空におよぐ
鯉のぼりのように
元気にのびる伊万里ッ子
(東山代町長浜にて)

'56

5月

待望の水道施設が完成

平山・脇田地区の80戸に

無水源地域の脇田町平山地区57戸と脇田地区23戸に、このほど待望の給水施設が完成し、4月2日、地域の人々の見守るなかで通水式が行なわれました。

これは上水道給水区域周辺の無水源地域に、上水道を水源とする昭和55年度無水源地域簡易水道事業により、総事業費1億1,738万円をかけ、国の補助金3,814万円と国民年金の還元融資(起債)6,800万円を受けて行われたものです。平山地区は標高が高く、配水池で142mの高さにあり、この事業の完成で隣接の脇田地区を含む80戸の無水源地域が解消し、渇水時期に

も安定した水の供給が得られることになりました。

昭和56年度は、さらに浄水場の整備拡充が計画されており私達の暮らしに欠かさない水を確保するための事業を進めています。



▲テープカットを見守る地区の皆さん

国の史跡指定を目指して

『山ん寺』遺跡を発掘調査

市教育委員会は、このほど東山代町川内野にある「山ん寺」遺跡の発掘調査を行いました。

山ん寺は、松浦党の根拠地であり、中世武家館跡としては全国有数の規模とみられ、今回は^{そうじじ}総持寺跡を中心に、考古学上の調査を実施し、

国の史跡指定を目指しています。発掘現場からは陶器の破片、石うす、古銭が出土し、関係者の期待を集めています。

松浦党は「一揆」と呼ばれる共和的自治制をしいた特異な武士団として知られ、その歴史は今日の伊万里・北松広域市町村圏の形成に結実しています。

歴史に学ぶことは、明日の伊万里を知ることであります。ふるさとの文化財を大切に守ってきたいものです。



▲発掘調査が進む山ん寺

メリカナイズされてしまい、今後独立を果たす為には日本人の勤労精神と農業技術が必要といふので、オイスカをとおして日本に援助が求められることになった。ベラウ共和国からの使者であるウエキさんは、かつて伊万里中学校で学び、今はパラオ病院の院長で、近く大臣就任を大統領から約束されておられるが、ウエキさんの同窓生と共に市民地研修所建設に協力し、併せてウエキさんによって南太平洋の国々と伊万里との交流を図らねばならない。ベラウの国旗は日本人の発想ではないかと思われるように形が日本の国旗に似て、ただ色が日の丸の「白地に赤く」に対して「青地に黄色」となっている。青は南太平洋の海を表わし、真中の黄色は満月で平和と発展の象徴とされる。ベラウでは一切の行動を月の満ち欠けで判断し、むかし月への掛け橋があったという伝説もあり、その登り口の遺跡もあるという。そして月への交流は米・ソのロケットより早いというのが自慢の一つである。(竹)

パラオから来た同級生



ベラウ共和国からウエキ大臣が来伊

南太平洋に浮ぶ島パラオからこの国の大臣に就任予定のウエキ・ミノル氏が、オイスカの招きで来日し、伊万里を訪れました。ウエキ氏は、戦後、松浦町の岸川栄一郎さん宅から旧制伊万里中学校に通い、帰国後、医師として、今年独立したベラウ共和国の国づくりに情熱を注いでおられます。14日同行のティモティ氏と共に市役所を訪れたウエキ氏は、竹内市長と同窓生らに迎えられ、すっかり感激し「伊万里は発展し町の様子も変

わってしまったが、山や自然は昔のままに私を温かく迎えてくれました。伊万里は第2のふるさとです。生まれたばかりの国ベラウに、伊万里の皆さんのご協力をお願いします」と流暢な日本語で挨拶されました。その後、市内を見学し、玉屋での歓迎レセプションでは、市民や同級生と三十年ぶりの旧交を温めあいました。



▲市役所を訪れたウエキさん(中央)

オイスカ(OISCA)とは
…産業・精神・文化の発展
高揚のための国際機構です。

化学消防車が登場



▲消火訓練に励む化学消防隊

市消防本部に新鋭の化学消防車が配備され、皆さんの前に登場します。

今度配備された消防車は、油類などの都市型火災に威力を発揮する化学消

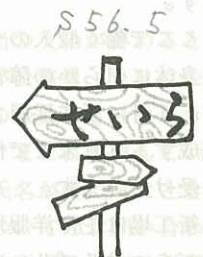
剤 500 l を積んでおり、石油タンクやガソリンスタンド、車両の火災などに対応できる性能を備えています。

購入価格は約 1,500 万円です。このうち 608 万円は化学消防車整備促進期成会(池永栄二会長 = 88 人)からの寄付金によっており、一旦緩急の場合の活躍が期待されています。

日本が統治していた頃は三万あった人口も今は一万五千となり、世界では小さな方から二番目の国で、五十歳以上の人は日本語を話すが、若い者はすべてにア

ベラウは原地語で日本人はBとRの発音が苦手なところからBをPに、RをLに変えてパラオといい、第一次世界大戦後、国際連盟から日本が委任統治をうけた時からパラオと称せられたが、今年一月一日独立して原語のベラウ共和国となった。

伊万里市は歴史的にも地理的にもインターナショナル(国際的)な性格を持っている。従って国際交流は伊万里の使命ともいえる。一昨年は中国と交流し、昨年はブラジルと緊密な関係が生まれ、今度は南太平洋のベラウ共和国との親交が始まった。



“福祉の年”に明るい話題

昭和56年——今年は「国際障害者年」です。国連が提唱しているこの福祉の年に合わせて、市内でも障害者のかたに対する朗報が舞い込みましたので紹介します。

昭和56年(1981年)
国際障害者年



(テーマ)完全参加と平等

シンボルマーク

2人の人間が連帯して手を取りあい、平等の立場から支えあっている姿を表現しており、平等・希望・支援を表しています。

身体障害者雇用の新工場を建設

ヴェルベがプリーツ加工工場を新天町に



◀ ヴェルベの縫製作業場

洋服の縫製会社、株式会社ヴェルベ（田中陽一郎社長＝従業員173人）は身体障害者雇用モデル工場を建設することになり4月7日、新工場の起工式が行われました。

この工場は、雇用促進事業団からの融資を受け、現在の工場（新天町）に隣接して建設されるもので、車イス用のスロープや障害者専用トイレも付設されます。

ここで働く42人のうち、19人は身体に何らかの障害がある方で、4月に正式採用され工場が完成する6月末まで作業の訓練を受けています。

新工場は主に洋服地に折目やひだをつけるプリーツ加工が専門で、この種の施設は九州でも

初めてだとのことです。

ヴェルベは身体障害者雇用の優良企業として、労働大臣表彰や市社会福祉大会での表彰も受けており、就職の機会が少ない

身体障害者に門戸を広げています。

国際障害者年

「国際障害者年」とは昭和51年の国連総会で決定された世界的規模の行動で、心身に障害をもつ人の社会への「完全参加と平等」をテーマにしています。

わが国には約350万人の障害者がいると推定されており、これらの人々に対する理解と関心を深め、みんなが参加し、平等に暮らせるよりよい社会づくりをすすめようとする年です。

市役所に善意の車イスを設置

山代町久原の御厨さんが寄贈

山代町久原にお住まいの御厨ハルさん（71歳）が市役所に身体障害者用の車イス1台を寄贈されました。

市では、さっそく体の不自由なかたが来庁された場合に利用していただくため玄関横に備えつけましたので、利用ご希望の



▲ 御厨さんから贈られた車イス

かたは遠慮なく福祉事務所にお申し出ください。

なお、市役所には車イスで来庁されたかたのため東側入口にスロープを設置し、1階には専用トイレも設けています。また、2階以上の階にご用の場合はエレベーターをご利用ください。

「ふるさとの祭り」が全国最優秀賞

大川町青年団の切り絵パネル

大川町青年団（辻茂樹団長、団員89人）が全国青年祭の教宣コンクールに出品していた「ふるさとシリーズ」と題する8枚の切り絵パネルがポスター・チラシ・ステッカーの部でみごと最優秀賞を獲得しました。この部門



▲市長に受賞の報告をする大川町青年団の皆さん

での最優秀賞は県内でも初めてのことで

出品した切り絵は、同町団の文化社会部が中心となって制作にとりかかり、3年をかけて完成させた横70cm、縦110cmの大型パネル8枚の力作で、それぞれのパネルは大川町に伝わる祭りや民俗行事である「鬼火たき」「もぐら打ち」「地藏まつり」「とらまわし」などのひとこまを切り絵で説明しており、発想のおもしろさと、完成した作品

の素朴な味わいが見る人に「ふるさと」への郷愁をうったえています。

制作を担当した堀田義文さん(27)、田代幹夫さん(23)、池田正充さん(24)、仲尾正信さん(26)らは「さびれていくふるさとの伝統行事を何かの形で残し、できれば昔なつかしい行事が復活すればという願いを込めて作りました」と話していました。

ご存知ですか？

児童手当のいろいろな届書

児童手当の受給については各種の届書や請求書を提出していただき、正しい認定のもとに給付することになっています。

必要書類の提出がない場合は手当が受けられないこともありますので十分注意してください。

◆児童手当認定請求書◆

初めて児童手当を受けようとするかた、または受給者であって住所を市内に移したかたが出すものです。

◆児童手当現況届◆

毎年6月にすべての受給者が

市の人口

(4月1日現在)

総人口 61,291人(-193)

男 29,074人(-98)

女 32,217人(-95)

世帯数 16,792世帯(-14)

市民課調べ、()は前月比



3月

貿易実績は58億8,125万円
で前月比46億7,933万円の増。

【輸出】 49億3,071万円

【輸入】 9億5,054万円

【船舶の入港】 12隻

(日本船1、外国船11)

【寄港地上陸許可者数】

294人(フィリピン112人、
中国102人、インドネシア
50人、韓国22人、英国4人
ビルマ4人)

地区別飲酒運転検挙者数

(S56.3.31 現在伊万里警察署調)

地区	1月~2月	3月	累計
伊万里	1	0	1
大坪	6	0	6
牧島	1	0	1
立花	2	2	4
大川内	1	0	1
黒川	3	0	3
波多津	0	0	0
南波多	0	2	2
大川	1	0	1
松浦	2	0	2
二里	1	2	3
東山代	2	3	5
山代	6	1	7
(市外)	10	5	15
計	36人	15人	51人

出す届です。

◆その他の届◆

- 受給者、または養育している児童の住所が変わったとき
- 対象となる児童の数が増減したとき
- 児童手当の支給が終わるとき
- 受給者が公務員、または公共企業体の職員になったとき
- 受給者、または養育している児童の氏名が変わったとき

※詳細についてのお問い合わせは福祉事務所婦人児童係(☎2111 内線262)へ。

あなたと考える

ふるさと

あなたにとって文化財とは、何でしょうか……。文化は私達の生活の中にあり、先人の知恵が有形、無形の文化財として今日に引き継がれ、また暮らしの中のしきたりや慣習として、知らずしらずに学んでいるものです。しかし、私達の身近にありながら、意外に無関心なものも文化財です。ふるさとの文化財についてあなたと一緒に考えてみましょう。



▲ 国の史跡指定が答申されている大川内山

守り育てる郷土の心

今、伊万里湾の鷹島沖では、元寇にまつわる日本でも画期的な水中考古学の調査が行われていますが、この戦で活躍した松浦莞の根拠地である山ん寺遺跡をはじめ、本市には古代から近世に至る史跡や文化財が数多くあります。なかでも肥前陶磁の古窯跡群は東部一円に広がり、埋蔵文化財の宝庫と言われている

ます。しかし残念なことに盗掘が後を絶ちません。それはなぜでしょう……。また「古伊万里」の積出港として栄えた伊万里津の盛衰をしのぶ白壁土蔵、トンテントン祭りや浮立など数数の伝統芸能があります。

これらの文化財は、伊万里人の気質を育くんだものであり、郷土の誇りとして、守り育てて

いくものです。それは私たちの郷土を慈しむ心の中にあります。

主な

- ▲ …… 遺 跡
- …… 無形文化財
- …… 古 窯 跡
- …… 塩 田 跡

活発化する市民活動

まず文化財に親しもう

昭和34年から文化財の保護、研究を推進している市民団体に郷土研究会があります。

その活動は、ふるさとの歴史探訪や会誌「鳥ん枕」の発行により県の芸術文化賞を受けるなど高い評価を得ています。

また、市民の代表による文化づくり懇話会では、図書館や博物館の建設、鍋島焼の顕彰についての活発な提言がなされています。一方、地域では、山代町久原で大念仏の復興が計画され

るなど伝統芸能の継承活動も活発化しています。

これらの活動に加え歴史民俗資料館では、毎年企画展を開き一人でも多くの人に文化財に親しむ機会を提供しています。

文化財は、私たちが問いかねないかぎり何も答えてはくれませんが、

しかし、私たちが文化財に接し、親しむ時、豊かな先人の知恵と心を伝えてくれます。あなたと共に郷土の文化財を守り伝えていきましょう。

伊万里津跡
(往時の伊万里津)



山ん寺遺跡
(源四郎大夫直墓と山ん寺塔)

の文化財

キャンペーン
シリーズ No.32

先祖の智恵を道しるべに

人々の生活が歴史の大きな流れの中で、その足跡を残していくとき、後に続く私たちはそれを道しるべに進んでいく……。それが文化財の大きな価値の一つです。この意味から文化財は、私たち共有の財産であり、私たち自身の手で守り伝えていく中から、先祖の智恵に学び、地域での連帯意識を育て、情緒豊かな村づくり、町づくりが広がっていきます。

大念仏を誇りとして

山口 康 則 さん(東山代町脇野)



私の郷土に伝わる大念仏は、今から800年昔に、京都の壬生寺の踊り念仏が伝承されたものと言われており、大旱魃の際、雨乞いの最後の手段として、青幡神社に奉納するもので、県の重要無形文化財でもあります。しかし、今では脇野地区だけに継承されており、それぞれの



▲三角縁三神三獸鏡

家の長男が引き継ぐしきたりになっています。私の家も代々受け継がれ父が踊っていましたがまさか自分が踊るとは考えても見ませんでした。昭和53年は伝承式があり、高校一年で最年少だった私も、他の7人と一緒に厳しい稽古を受けました。最初の頃は人前で踊ることがはずかしかったのですが、今では自分が伝統芸能を継承していることを誇りに思っています。久原地区でも復興されるそうですが、若い仲間がふえたらいいですね。

文化財は鎮守の森

盛 峰 雄さん(文化財専門員)



文化財保護法が昭和25年に制定されて31年がたちますが、今日ほど、人々の関心が文化や文化財に向けられている時はないでしょう。それは、私たちが生活の中にあるおいや文化的創造を求めているからだと思います。今、全国各地で美術館や博物館の建設が相次いでいますが、これは文化財が個人の財産ではなく、私たちに等しく享受され

る文化的遺産であるからです。しかし、文化財の保存には、常に開発する権利と守る責任の矛盾があります。そこで単に言葉だけの保護ではなく、私たち自身が、もっと文化財に関心を持つことが必要です。文化財は私たちの鎮守の森です。住みなれたふるさとの文化財を守り、情緒豊かな伊万里を築いていきましょう。

文化財

□無形文化財

- 1 とらまわし
- 2 へその緒切り
- 3 手すき和紙
- 4 府招浮立
- 5 もっこおどり
- 6 大念仏
- 7 亥の子石つき



銅島窯跡
(大川内山陶工壘)

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話題

～その28～

四季の花咲く公民館

善意の花を植える古賀の池田さん

菜の花やれんげのじゅうたんが広がるのどかな田園風景…。花は、私たちの目を楽しませ、心を和ませてくれます。

四季折々の花を育て公民館や広場に植えている人がいます。この方は、大坪町上古賀の池田君代さん（77歳）で、自分の畑で育てた苗を古賀の公民館や近所の薬師堂に植え、部落の人や道行く人に喜ばれています。

池田さんは、公民館や薬師堂に草が茂っているのを見て、自分の所で育てている花を植えたらと思ったのがきっかけで、夏にはサルビア、秋にコスモスと6年間も植え続けておられます。

池田さんは、「昨年の寒さで石がきの桜草が全滅したので、

がっかりしました。がまた植えたい」と話しておられました。公民館では今、キンセンカが咲き始めており、花を愛する池田さんの優しい心を伝えていきます。



▲庭先で花の手入れをする池田さん

戦没者を守り続けて15年

忠魂碑に花を献げる瀬戸の松尾さん

4月28日に、市民会館で市戦没者追悼式が行われましたが、戦没者の英霊を慰めるため、献花や清掃の奉仕活動が続けられている方がおられます。

この方は、瀬戸町本瀬戸の松尾ツヨさん（70歳）で、牧島小学校横にある志賀神社の境内の忠魂碑に、月はじめと中旬の2回、さかきやツツジなど折々の花を供えたり、清掃

をするなど、15年間続けてこられたものです。

この忠魂碑は、瀬戸町で生き残られた戦友や遺族の力で、昭和41年に建設され、83名の英霊が祭られています。その時からずっと続けられているものです。松尾さん自身もご主人を昭和17年にセレベス島で亡くされたとのことですが、部落の人からも、枯れた花があるのを見たことがないと、たいへん感謝されています。

伊万里市の戦没者は2,208柱ですが、戦後35年の歳月の中で今日の平和な郷土の尊い礎として、私達の一人ひとりが松尾さんのように敬う心を持ち続けたいと思います。



▲忠魂碑を守り続ける松尾さん



▲交通安全パレードを実施(4/6)
白バイの先導で楽隊をはじめ400名が街中をパレードしました。



▲新入学・入園児の交通安全教室(4/16)
子供たちの笑顔のように明るい事故のないまちをめざしましょう。

いま伊万里で



▲商工春まつりが開催(4/1~5)
黒元市には県外からもたくさんの人で賑わいました。



▲黒川町深山運動広場が落成(4/12)
どんな名選手が育つか楽しみです。



▲吸いがらの投げ捨てはやめましょう
大川・松浦・南波多のバス停に空カン利用の灰皿をとりつける消防東分署職員。



▲不用品バザーに人気集中(4/5)
婦人会の不用品バザーにごらんの人ばかり不用品もここでは必需品?

陶芸教室をテレビで紹介

NHK教育テレビで全国放送



◀「生きがいと創造の家」で行われた陶芸教室の録画撮り

NHKの教育テレビ番組「お達者くらぶ」で、昨年市民会館の隣にオープンした「生きがいと創造の家」の陶芸教室が全国放送されることになり、その録画どりが行われました。

番組では、長寿列島北南というタイトルで焼き物の里「伊万里」にふさわしく、陶芸を楽しむ市内のお年寄りたちの生き生きとした姿を紹介します。

現在、「生きがいと創造の家」の陶芸教室には60歳以上のお年寄り25人が参加されており、週に1度の窯出し日を心待ちにしておられる様子で、焼き上がっ

た自分の手作り作品の出来に目を細めておられます。

◆放送日のお知らせ◆

- NHK教育「お達者くらぶ」
- 5月13日 午前8時30分から
- 5月14日 午後5時から

5月の市民会館行事予定

- 毎週金曜日 9時～17時
運転免許証更新時講習
- 毎週火・金曜 18時～21時
建築士試験受験準備講習会
- 5日(火) 13時～22時
一節太郎ショー
- 11日(月) 9時～22時
劇団「カップ座」公演
- 13日(水) 17時～22時
文化講演会(市文化連盟)
- 17日(日) 9時～22時
日本舞踊発表会
- 25日(月) 18時～22時
創価学会佐賀県大会
- 30日(土)
佐教連伊万里支部定期大会
- 31日(日) 13時～17時
親と子の名作映画鑑賞会

内職(編物 フランス刺しゅう)の講習会を開きます

県内職センターでは、編物とフランス刺しゅうの講習会を次の日程で行います。

▲期 日

5月18、19、20、22、25日

▲時 間

10時～15時

▲場 所

市役所1階会議室

受講希望のかたは5月11日までに市民相談室(☎③2111内線225)へお申し込みください。

※申し込みは、受講後内職をされるかたに限ります。

お知らせ

3(雄)3(1)0(6)へお尋ねください。
自動車税や減免についての詳細は武雄県税事務所(☎09542③310

おしらせ

難なかが所有している自動車については自動車税の減免を受けることができます。
なお、心身に障害があり、歩行が困難なかが所有している自動車について

お知らせ

自動車税は6月1日までに

自動車(軽自動車を除く)を所有するかたには、5月10日頃、県税事務所から納税通知書が送られてきます。
自動車税の納期は6月1日までとなっておりますので、最寄りの銀行、農協郵便局などの金融機関、または県税事務所に納めてください。

おしらせ

さつき展示会を開きます

伊万里さつき愛好会は、市農協との共催により、さつき展示会を開きます。
▲期 日 5月30日・31日
▲場 所 市農協会館

※期間中、さつき苗・盆栽の展示即売会、さつき相談コーナーなどを設けます。

お知らせ

防火管理者の講習会

▲日 時 5月21・22日 9時～16時

▲場 所 市消防本部研修室

▲対 象 防火管理者の資格を取得したいかた。

▲受講料 500円

※受講希望のかたは5月6日から15日まで市消防本部予防係へお申し込みください。なお、講習には消防関係法令集(56年版)と防火管理者必携を使用します。(講習日に販売)

(注) 中蔵及入コーヤハ品用不

中蔵及入コーヤハ品用不
ヤ品用不

宗兄弟とジョギングしよう

学園高校が本館竣工記念に招待

伊万里学園高校（植松泰勇校長＝生徒383人）は老朽化した旧校舎を取り壊し、新しい校舎を建築中でしたが、このほど完成し、その竣工と同校がかねてから念願していた硬式野球部の創設を記念して、陸上教室と平安高校招待野球大会を開きます。

陸上教室にはマラソンのトップランナー宗兄弟をはじめ広島日出国監督が率いる旭化成陸上部を招待し、同監督の記念講演のあと、学生や一般約1,000人とともに模範ランニングやジョギングの指導が行われます。

また、高校野球の名門校として知られている平安高校野球部（甲子園出場56回）を招待して伊万里・西松浦地区の高校と招



待試合が予定されており、野球ファンにとっては見のがせない行事となりそうです。

陸上教室と野球大会の日程は次のとおりです。

【陸上教室】 5月12日（火）
▲記念講演 13時～13時50分
 ・会場：伊万里学園高校体育館
 ・講師：広島日出国氏
 「正しいジョギングの在り方について」

▲模範ランニング大会
 14時～15時10分
 ・会場：学園グラウンドおよび市街道路（市役所－学園高校）

・参加指導：広島監督、宗茂、宗猛、西村功選手ほか
 （一般、学生・生徒の自由参加は約1,000人を予定）

【平安高校招待野球大会】
 5月24日（日）
 ・会場：国見台野球場
 ・時間：午前中学園チームと合同練習、午後1時から伊西地区高校との招待試合

資料館だより

東部地区展を準備中

歴史民俗資料館では、今年の企画展として南波多、大川、松浦町を対象とした東部地区展を計画しています。

現在、展示資料を収集していますが、紙すきや浮立の道具、その他歴史的、民俗的な行事・生活・文化などに関する資料が少ないようです。

このような資料をお持ちのかたは資料館への寄託や寄贈をお願いします。

（歴史民俗資料館 ☎ 7105）

特設人権相談

【伊万里会場】

▲日時 5月6日 10時～15時
▲場所 市中央公民館
▲担当 人権擁護委員
 菊地俊夫氏
 池田一郎氏

【大川会場】

▲日時 5月8日 10時～15時
▲場所 大川公民館
▲担当 人権擁護委員
 高添門司氏

ほしゅう

募 集

ほしゅう

募 集

ほしゅう

伊万里海洋少年団の団員募集
 伊万里海洋少年団は、昭和56年度の団員と準団員を募集します。
資格
 ・正団員 小学4～6年生男女
 ・準団員 小学3年生男女
訓練費 毎月第1・第3日曜
経費 入団金 2,000円
 入団費 月500円
 訓練は大坪公民館、伊万里湾で、旗、カッター（ボート）こぎ、ヨット操作などを行います。巡視船での体験航海もありです。入団希望の方は、事務局（商工会議所内、ライオンズクラブ事務局 ☎ 4753）へお申し込みください。

消費生活通信講座の受講生募集
対象 県内居住者でこれまでに受講した事がないかた。
人数 40人（市内）
期間 6月～11月（6か月）
学習方法 テキストとスクーリング（武雄）による学習
 ※受講を希望されるかたは5月20日までに市役所企画課に住所、氏名、年齢、職業、電話番号をご連絡ください。（連絡先 ☎ 2111 内線415）

国税専門官を募集
 国税専門官（大学卒業程度）の採用試験が次のとおり行われます。
願書受付 5月14日～5月22日
受験資格 昭和29年4月2日～昭和35年4月1日生まれの者
採用予定 約600名（全国）
一次試験 7月11日・12日
 ※願書の請求および詳細については伊万里税務署（☎ 3147）へ。

〔伊万里市文化連盟結成20周年記念〕

文化講演会を開催



市文化連盟は結成20周年記念行事の一つとして、文藝春秋社との共催による「文化講演会」を開催します。

講師には現在文壇で活躍中の作家3氏を招いていますので、市民の皆さんの多数のご来場をお待ちしています。

▲日時 5月13日 18時～21時

▲会場 市民会館大ホール

なお、入場は無料で来場者には記念品も準備しています。

◆講師と演題◆

- 永井路子氏 「歴史の中の女たち」（直木賞受賞、「草燃える」などの歴史もので著名）
- 笹沢佐保氏 「死ぬこと・生きること」（日本推理作家協会賞受賞、「木枯し紋次郎」著）
- 上前淳一郎氏 「真実について」（大宅壮一ノンフィクション賞受賞、「太平洋の生還者」著）

日本脳炎の予防接種 3歳から就学前の幼児

日本脳炎の予防接種を下表の日程で行います。

接種希望者は、からだの状態がよい時、つごうのよい病院で接種してください。

▲対象 満3歳～就学前の幼児

▲料金 無料

▲接種方法

○初回 初めて接種する人は7日～14日の間隔で2回接種

○追加 昨年接種した人は1回

※接種日の5日前までに医療機関に申込書、承諾書を提出し、保護者同伴で接種を受けること。

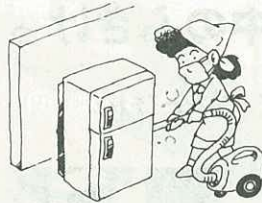
日本脳炎予防接種日程

町名	医療機関名	1回目 月・日	2回目 月・日	時 間	町名	医療機関名	1回目 月・日	2回目 月・日	時 間
伊万里	一番ヶ瀬耳鼻咽喉科	6/9	6/16	13:30～15:00	波多津	小島 医 院	5/21	5/28	13:30～14:30
	今里 医 院	5/21	5/28	13:30～15:00		南波多	小島 医 院	5/29	6/5
	伊万里 保養院	6/9	6/16	10:00～11:00	助 広 医 院		6/9	6/16	14:00～15:00
	岡村 医 院	6/9	6/16	13:00～15:00	大川	平 山 医 院	6/10	6/17	13:00～14:00
	加茂 医 院	6/9	6/16	10:00～12:00		山 口 医 院	5/21	5/28	15:00～16:00
	加茂 皮膚科	6/9	6/16	14:00～15:00	松浦	近 藤 医 院	5/21	5/28	13:00～14:00
	梶山 整形外科	5/21	5/28	14:00～15:00		日 浦 医 院	5/21	5/28	14:00～15:00
	木本耳鼻咽喉科	6/9	6/16	9:00～12:00		福 岡 医 院	6/9	6/16	15:30～17:00
	口石 病 院	6/9	6/16	16:00～17:00	二里	井 手 医 院	6/10	6/17	13:00～14:00
	桑原産婦人科	5/21	5/28	13:00～14:00		太田整形外科病院	5/21	5/28	14:00～15:00
	小島 眼 科	6/9	6/16	14:00～15:00		市民 病 院	6/9	6/16	14:00 受付
	鈴山耳鼻咽喉科	5/21	5/28	11:00～12:00		毛 利 医 院	5/21	5/28	14:00～15:00
	隅田 病 院	5/22	5/29	9:00～17:00		山元 外科病院	6/9	6/16	13:00～14:00
	夏秋 医 院	5/22	5/29	13:00～14:00	東山代	内山産婦人科	5/21	5/28	13:00～15:00
	浜田産婦人科	6/9	6/16	16:30～17:30		立 石 医 院	6/9	6/16	11:00～12:00
	林産婦人科	5/22	5/29	15:00～16:00		滝野 診療所	5/21	5/28	10:00～11:00
	原 皮膚科	5/21	5/28	14:00～15:00	山代	黒 木 医 院	6/9	6/16	10:00～12:00
	堀田 病 院	6/9	6/16	10:00～12:00		社会保険浦の崎病院	6/9	6/16	15:00～16:00
	前田 病 院	5/19	5/26	13:30～15:30		西 田 病 院	5/22	5/29	14:00～15:00
	光武 医 院	5/21	5/28	10:00～14:00		博 仁 会 医 院	6/9	6/16	13:30～15:00
山口 病 院	5/21	5/28	14:00～16:00	樋 口 医 院		5/21	5/28	11:00～12:00	
山口 皮膚科	5/21	5/28	14:00～15:00	水 上 医 院		5/21	5/28	11:00～12:00	
黒川	小島 病 院	6/9	6/16	13:30～14:30		池 田 医 院	6/9	6/16	11:00～12:00

春の市民大清掃運動

5月10日～20日

清潔で住みよい環境をめざして「春の市民大清掃運動」が始まります。みんなで協力し合って美しい伊万里にしましょう。



市民大清掃日は5月17日(日)

道路や公民館、公園、神社など公共施設の清掃は5月17日に行ってください。

また、事業所や学校、家庭においても、清掃期間中、ふだん掃除のしにくい箇所を中心に清掃しましょう。

◇清掃後の後始末◇

・ゴミは可燃物・不燃物に分け

ふだんしないところまでいねいに

指定日時に搬出してください。側溝のドブや粗大ゴミの処理については区長さんが市にご連絡ください。

・偶数日の不燃物収集地区の粗大ゴミは21日以後収集します。お問い合わせは市環境衛生課(☎③ 2111、内線284・289)へ。

行政相談はお気軽に

役所や公社、公団などの仕事についてのご相談は次の行政相談委員さんへ。

- ・岩本判三氏 (☎⑧ 0546)
- ・井手敏男氏 (☎② 4350)

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。(敬称略) 社会福祉事業費へ

- ◆香典返しを寄付
- 幸松紀生(亡弟輝 東山代町川内野)
- 梅崎ミヨコ(亡夫日出一 栄町)
- 淵上 巖(亡叔母ヨシ 浜町)
- 青木 満(亡母ソノ 黒川町小黒川)
- 中村真澄(亡母ツルエ 二里町大里)
- 原 竹一(亡母サノ 大川内町平尾)
- 谷口義郎(亡父三兵衛 山代町浦之崎)
- 峰 洋(亡父弥作 二里町作井手)

- 和島政男(亡父熊太郎 黒川町浦分)
- 山口ヤエ(亡義母ツタ 二里町大里)
- 川野ツネ子(亡夫光則 木須町)
- 松永吉市(亡父滝造 山代町東分)
- 吉川欽治(亡父潔 脇田町山)
- 田中ミツヨ(亡母モセ 波多津町煤屋)
- 山口 司(亡母トミエ 二里町大里)
- 泊ミドリ(亡夫岩夫 木須西)
- 御厨ハル(亡夫岩雄 山代町久原一区)
- 西念寺門徒一同(亡住職・釈多聞 大坪町上古賀)
- 横田俊春(亡父薫市 松浦町下分)
- 高添節夫(亡母文字 大川町宿)
- 百武和男(亡父甚吉 松浦町下平)
- 野口利信(亡妻君江 搦町)
- 池田久蔵(亡母サン 大坪町下古賀)
- 藤本 始(亡長女直美 大川町片竹)

ありがとう



ご支援ありがとうございました

- 坂井重弘(亡父久吉 立花町東円)
- 久保靖子(亡夫磯六 大川町立川)
- ◆篤志寄付
- 二千元 幸松虎円(東山代町川内野)
- 八四、六五〇円 佐賀民俗舞踊研究会
- 一万円 牧野敏昭(東京都新宿区)
- 三、三三〇円 THE E伊万里コンサート
- 三、三二〇円 GOOD BYE伊万里コンサート(演奏益金を福祉事業費へ)
- 一六、四五八円ボーイスカウト伊万里第一団 第二団(国際障害年にあたり福祉事業費へ)
- ◆交通遺児救済資金へ
- ◆篤志寄付
- 二二、二〇〇円 市民踊連盟晴萬会
- 一万円 松尾勝馬(黒川町福田)

- 二万円池田京子(大坪町白野見舞返し)市心身障害児父母の会へ
- 一万五千元 伊万里仏教会
- ◆教育振興奨励基金へ
- ◆香典返しを寄付
- 栗原 崇(亡母スミ 今町)
- 教法寺門信徒一同(亡千葉カズ子西円)
- 中倉 茂(亡母コマ 東山代町滝川内滝野小へ指定)
- ◆篤志寄付
- 一三三四円 山口 文(大坪町白野期限満了の拾得金)
- 一万円 前田尚子(新天町期限満了の拾得金)
- 一〇万円 大久保敏次郎(大川内町平尾新入学祝いとして大川内小へ)
- ◆体育振興奨励基金へ
- 一万円 中島紘一(新天町六五四)明るい町づくり推進資金へ
- ◆大坪公民館
- 西念寺門徒一同(亡住職 釈多聞 大坪町上古賀)
- 坂井重弘(亡父佐吉 立花町東円)
- ◆大川内公民館
- 原 竹一(亡母サノ 大川内町平尾)
- 三万円 松尾照一(立花町東円 国勢調査員として総理大臣表彰の記念に)
- 一〇万円 前田末次(大川内町福野 停年退職記念として)
- ◆黒川公民館
- 川口ミツヲ(亡父和平 黒川町椿原)
- 和嶋政男(亡父熊太郎 黒川町浦分)
- ◆南波多公民館
- 池田久米造(亡母トメ 南波多町原屋敷)
- 古賀 稔(亡父友治郎 南波多町原屋敷)
- ◆大川公民館
- 田代 勉(亡父茂一 大川町戸石川)
- ◆二里公民館
- 山口幸則(亡祖母ツタ 二里町大里)
- 吉富敏之(亡父団作 二里町中田)
- ◆山代公民館
- 小柳政美(亡母セツ 山代町久原三区)

こ ども の ペ ー ジ

あぶないよ 通学途中のふざけっこ

交通安全を守って 安全登校

新学期が始まって1か月たちました。もう学校の生活にも慣れて、元気いっぱい勉強したり、運動したりしていると



▲交通安全教室で横断歩道の渡り方を勉強

でも、通学途中道路で鬼ごっこや追いかけて急いで道路にとび出し、交通事故に故にあった友だちがたくさんいます。十分注意しましょう。

警察の調べでは小学生以下の子供の交通事故のうち、10人中7人が「とび出し」が原因で事故にあってます。次に多いのが「横断中の事故」で、車の直前、直後の横断や信号無視も事故の大きな原因になっています。

事故にあわないよう交通ル

登校前はゆとりをもって

朝、学校へ行く前に忘れものがないかよく調べ、通学時間にゆとりをもって出かけるようにしましょう。



ルをよく守って登・下校しましょう。

新1年生に黄色い帽子をプレゼント

外に出るときはいつもかぶろう

今年、小学校に入学した市内の新1年生に「交通安全の黄色い帽子」883個が、伊万里市社会福祉協議会からプレゼントされました。黄色は遠くからよく目立つので、車を運転する人から発見されやすく、交通事故にもあいにくいということで、みんなが安全に学校へ行った、遊んだりできるようにと贈られたものです。

4月9日に行われた大坪小学校の入学

親子で絵を描く 市民のつどい

お父さんやお母さんといっしょに絵を描いてみませんか。

市教育委員会は伊万里川周辺を会場として、『親子で絵を描く市民のつどい』を次のとおり開きます。友だちもさそってグループで参加しましょう。

▲期 日 5月17日(日)
(雨天の場合は24日)

▲集合場所 伊万里保育園広場

▲集合時間 午前9時30分

▲持参品 スケッチ用具(画用紙は市で準備します)

描き終わったら土筆(どぶで)会の先生方に絵の指導をしていただきます。

参加した皆さんには全員に参加賞が用意されています。

式では、1年生の代表として熊川嘉隆君が市長さんから黄色い帽子をかぶせてもらいました。なお、伊万里小学校には黄色いかさ80本が贈られました。



◀市長さんから黄色い帽子をかぶせてもらう熊川君(大坪小で)